



資料編



1	ニーズ調査結果の概要.....	116
2	各種アンケート調査の結果.....	130
3	特定 14 項目事業の進捗状況.....	132
4	目標指標	135
5	「子育て王国そうじゃ」まちづくり 協議会設置要領	137
6	「子育て王国そうじゃ」まちづくり 協議会 名簿	139
7	「子育て王国そうじゃ」まちづくり 協議会 次世代育成支援計画・ こども条例策定部会 名簿.....	140
8	「子育て王国そうじゃ」まちづくり 協議会 食育推進計画策定部会 名簿	141
9	策定経過	142
10	用語説明	143
	索引	147



資料編

1 ニーズ調査結果の概要

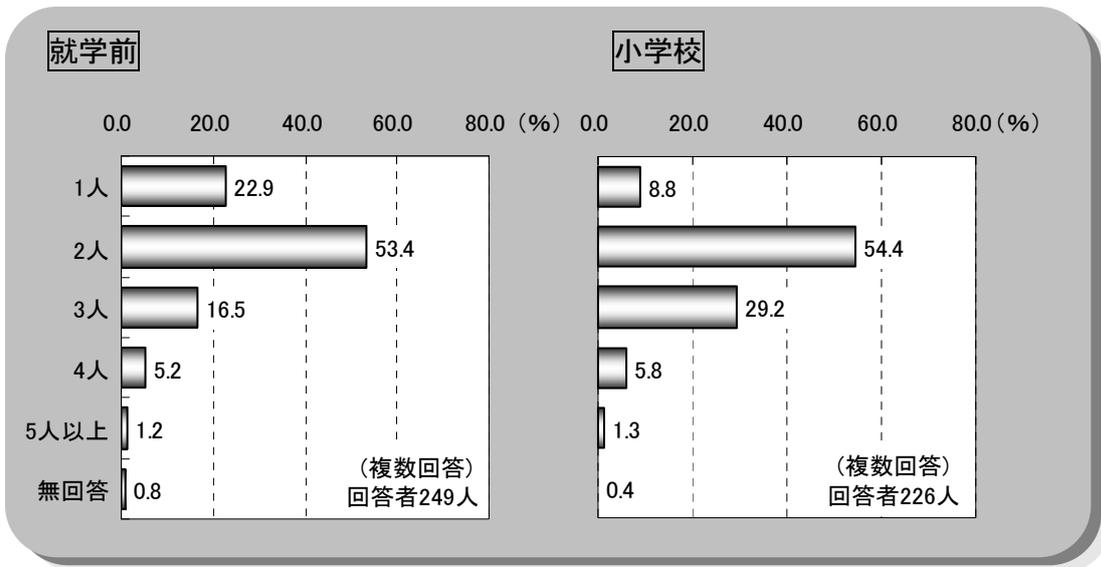
本計画を策定するにあたり、子育て家庭の実態や意向、課題等を把握し、今後の子育て施策を進めるための基礎資料として、平成 20 年 12 月に「次世代育成支援等に関するニーズ調査」を実施しました。

【表】次世代育成支援等に関するニーズ調査

区分	総社市内の就学前児童がいる世帯	総社市内の小学校児童がいる世帯
標本数	500 人	500 人
抽出法	単純無作為抽出法	
調査方法	郵送法	
回収数	249 名	226 名
有効回収率	49.8%	45.2%

(1) 子どもの人数

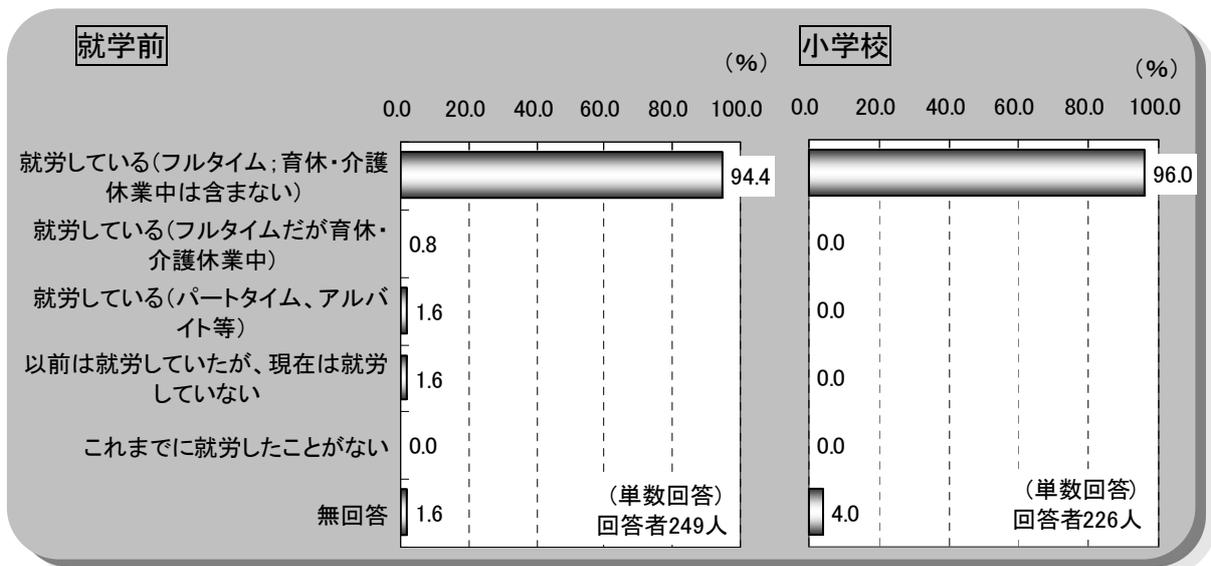
子どもの人数についてみると、「2人」が就学前で53.4%、小学校で54.4%と最も多くなっており約半数を占めています。次いで、就学前では「1人」が22.9%、小学校では「3人」が29.2%となっています。



(2) 保護者の就労状況

① 父親の就労状況

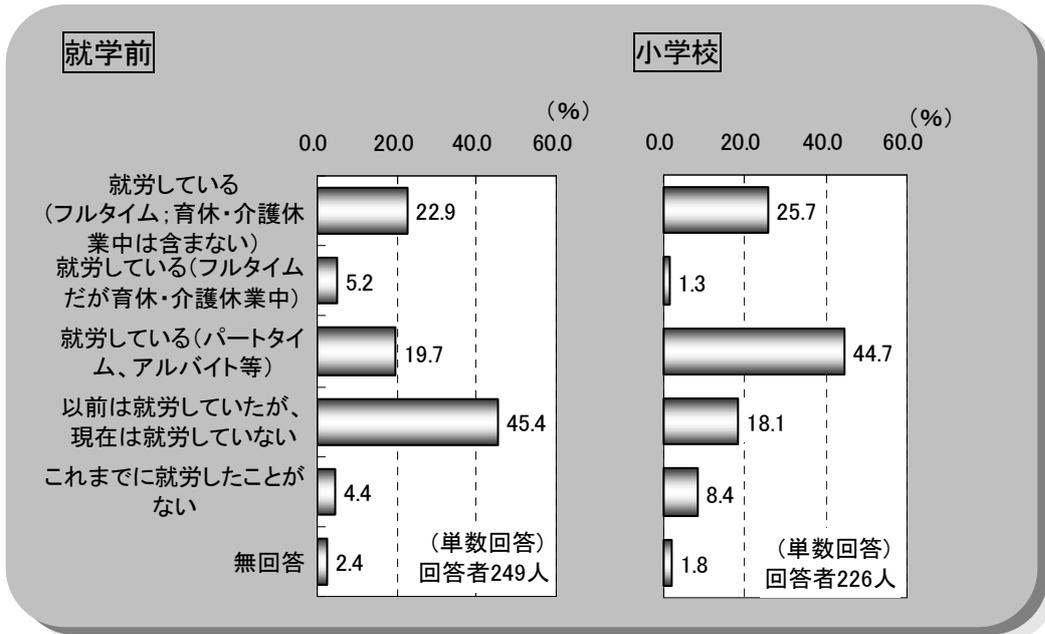
父親の就労状況についてみると、就学前、小学校ともに「就労している(フルタイム; 育休・介護休業中は含まない)」が最も多く、就学前では94.4%、小学校では96.0%と大半を占めています。





②母親の就労状況

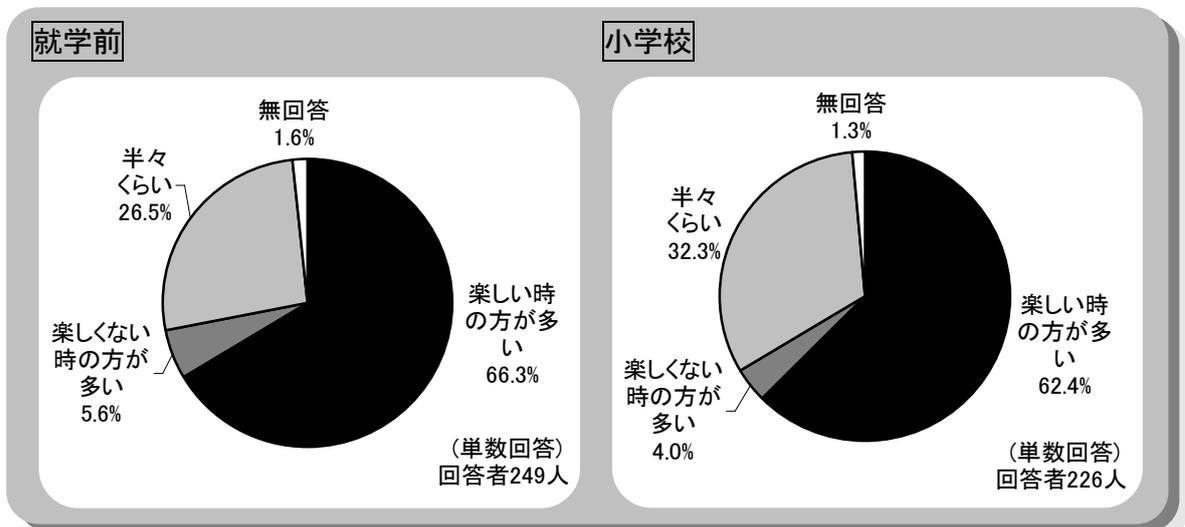
母親の就労状況についてみると、就学前では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が45.4%と最も多く、次いで、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」が22.9%となっています。小学校では「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が44.7%と最も多く、次いで、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」が25.7%となっています。



(3) 子育て生活における気持ち

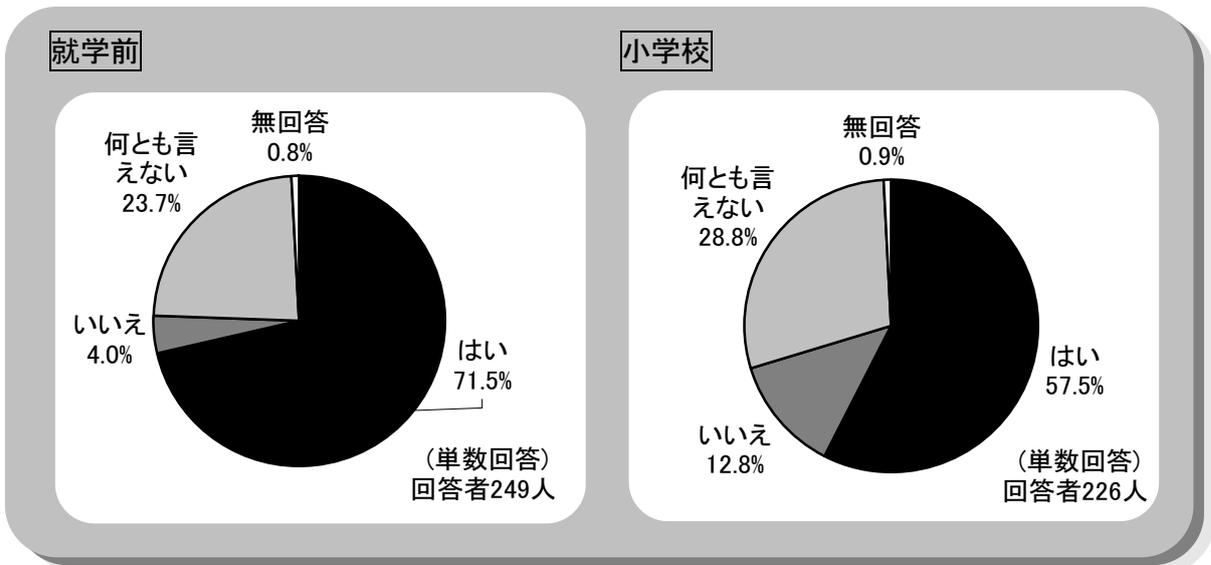
①子育ては楽しいですか

子育ては楽しいかについてみると、就学前、小学校ともに「楽しい時の方が多い」が最も多く、就学前では66.3%、小学校では62.4%と過半数を占めています。次いで、「半々くらい」が就学前では26.5%、小学校では32.3%となっています。



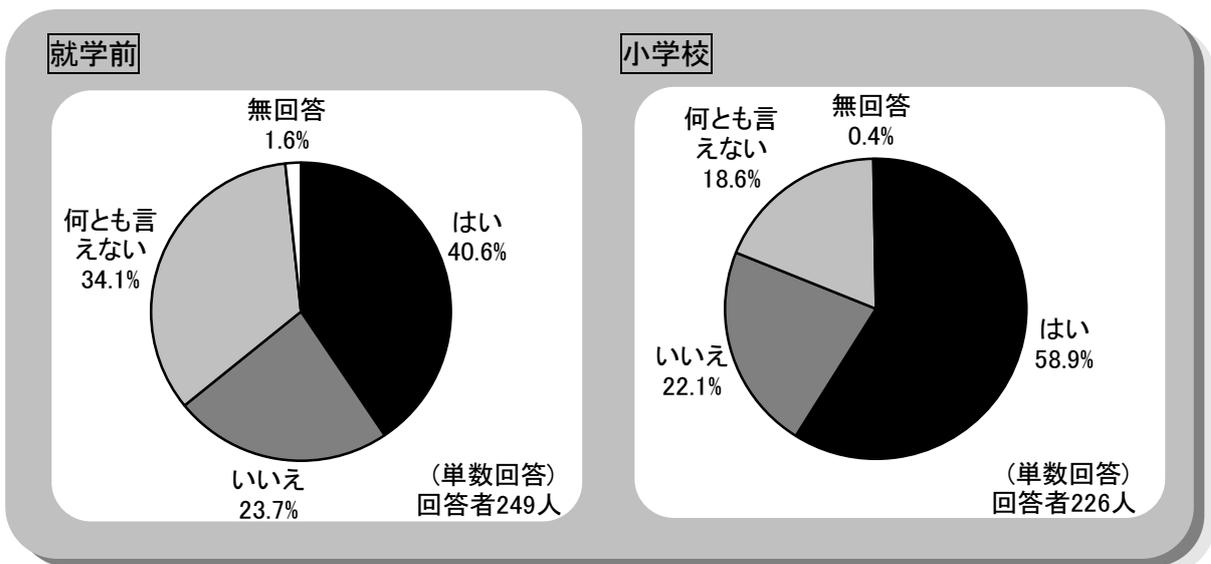
② ゆったりとした気分で子どもと過ごせるか

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるかについてみると、就学前、小学校ともに「はい」が最も多く、就学前では71.5%、小学校では57.5%と過半数を占めています。次いで、ともに「何とも言えない」が就学前では23.7%、小学校では28.8%となっています。



③ 自分のために使える時間を持てるか

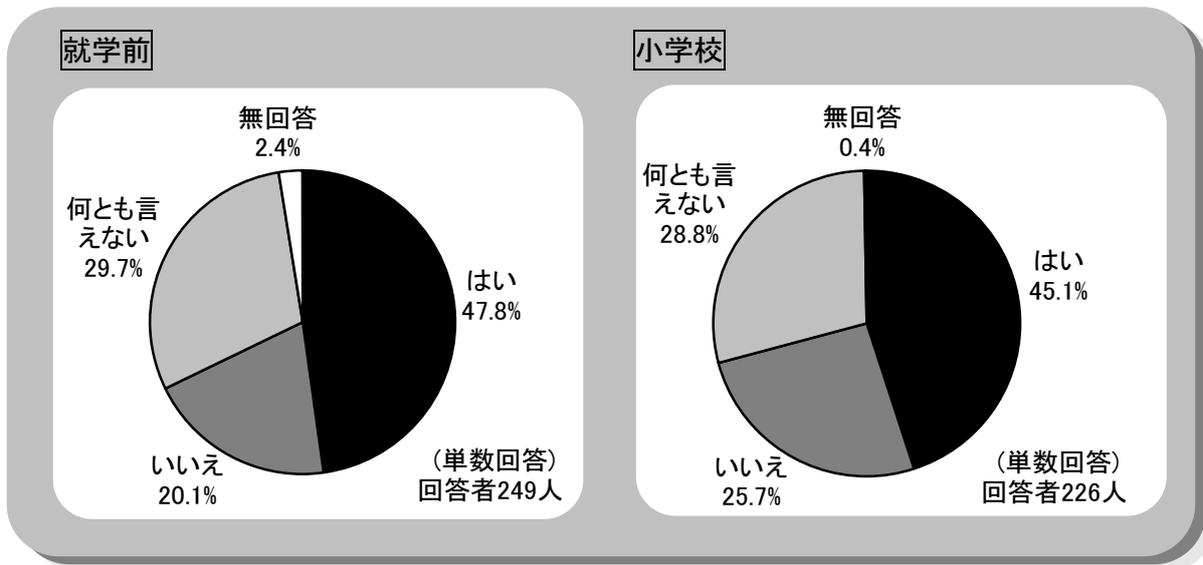
自分のために使える時間を持てているかについてみると、就学前、小学校ともに「はい」が最も多く、就学前では40.6%、小学校では58.9%となっています。次いで、就学前では「何とも言えない」が34.1%、小学校では「いいえ」が22.1%となっています。





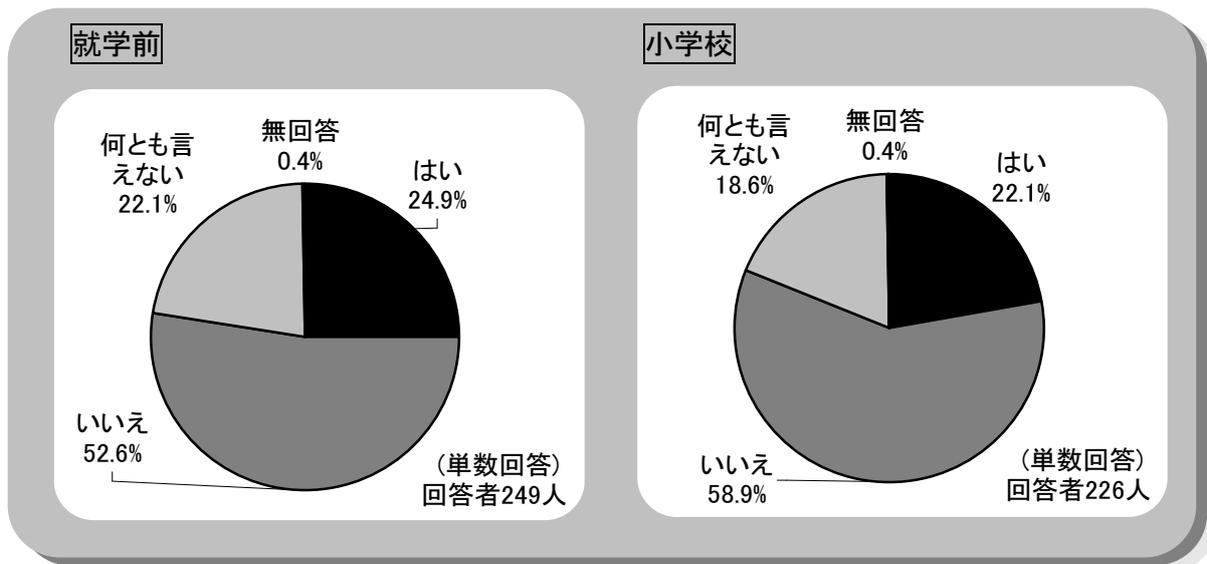
④子育てに自信がもてないことがあるか

子育てに自信がもてないことがあるかについてみると、就学前、小学校ともに「はい」が最も多く、就学前では47.8%、小学校では45.1%となっています。次いで、ともに「何とも言えない」が就学前では29.7%、小学校では28.8%となっています。



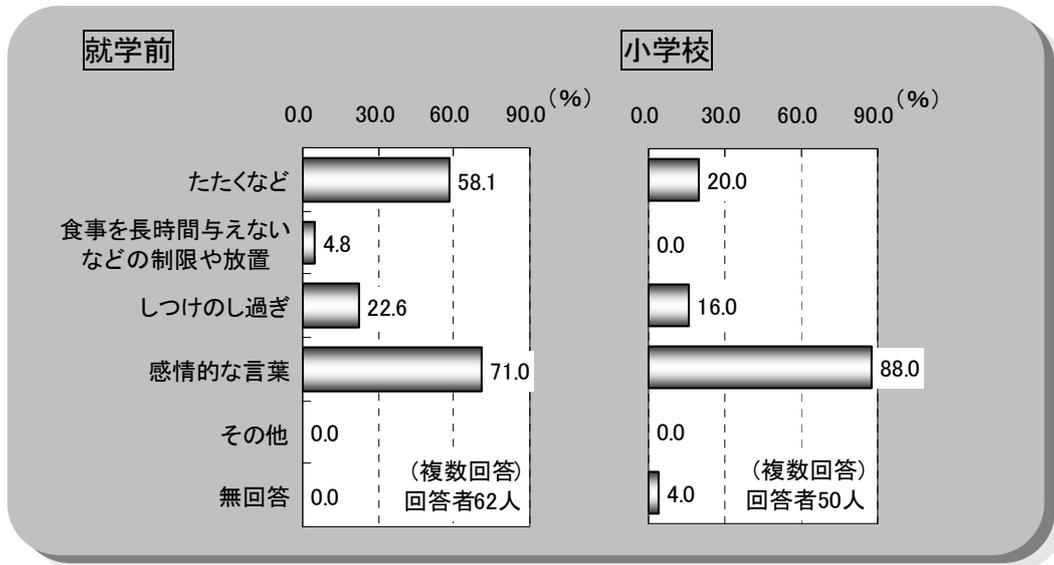
⑤子どもを虐待していると思うことがあるか

子どもを虐待しているのではないかと考えるかについてみると、就学前、小学校ともに「いいえ」が最も多く、就学前では52.6%、小学校では58.9%と過半数を占めています。次いで、ともに「はい」が就学前では24.9%、小学校では22.1%となっています。



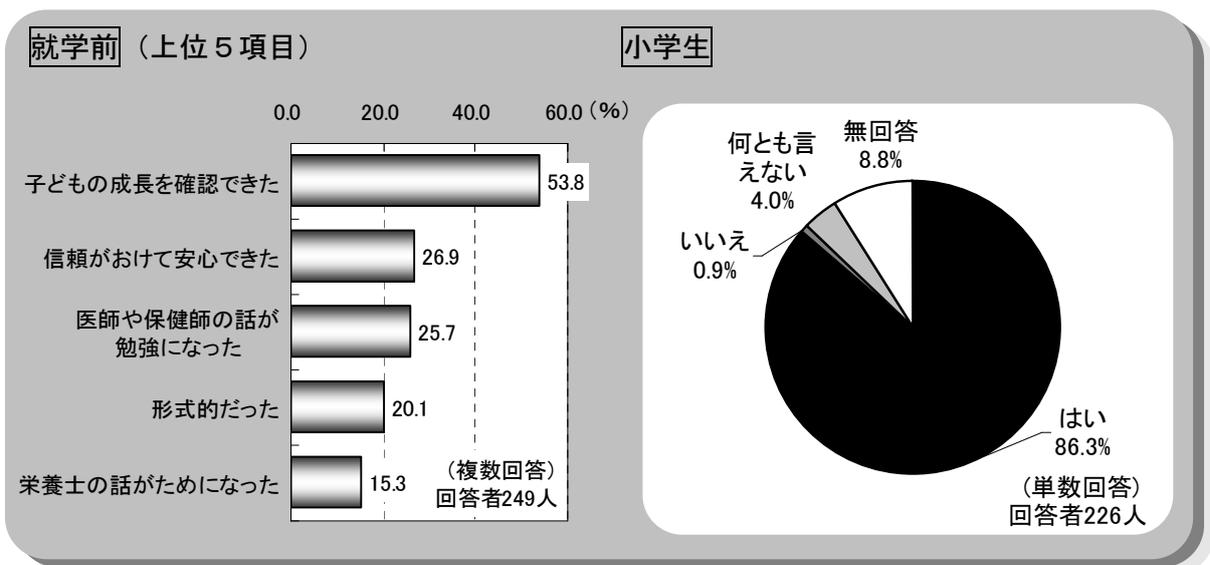
⑥具体的な内容

それはどのようなことかについてみると、就学前、小学校ともに「感情的な言葉」が最も多く、就学前では71.0%、小学校では88.0%と過半数を占めています。次いで、ともに「たたくなど」が就学前では58.1%、小学校では20.0%となっています。



⑦乳児健診の感想及びかかりつけの医師の有無

乳児健診の感想についてみると、就学前では「子どもの成長を確認できた」が最も多く、53.8%と約半数となっており、次いで、「信頼がおけて安心できた」が26.9%となっています。かかりつけの医師の有無についてみると、小学校では「はい」が86.3%と大半を占めています。

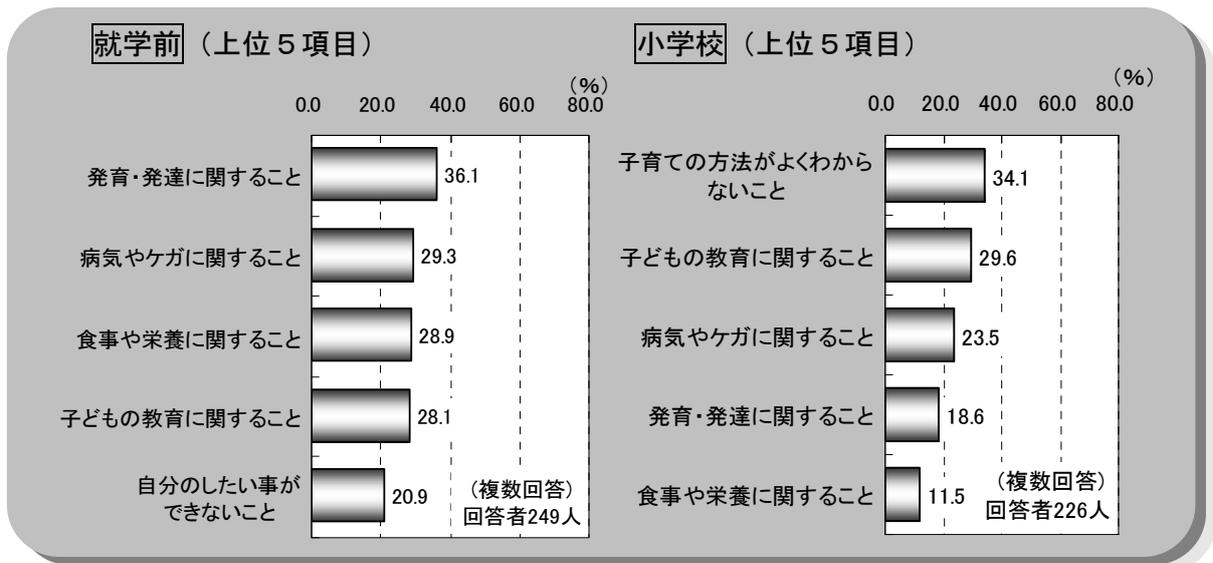




(4) 子育てに関する不安や悩み

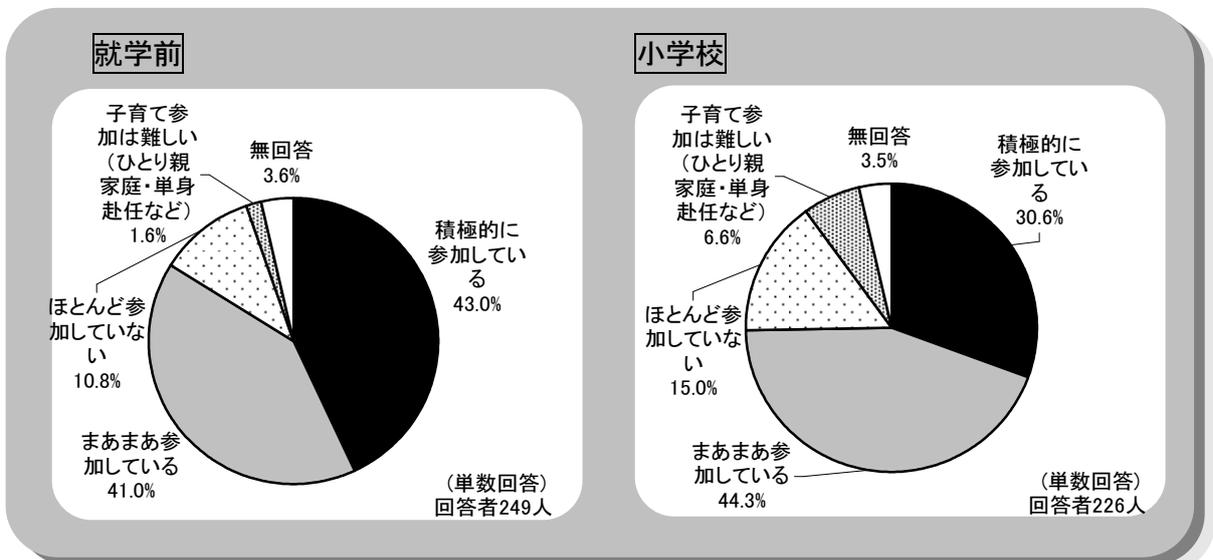
① 子育てに関する悩みや気になること

悩んでいること、気になることについてみると、就学前では「発育・発達に関すること」が36.1%と最も多く、次いで、「病気やケガに関すること」が29.3%となっています。小学校では「子育ての方法がよくわからないこと」が34.1%と最も多く、次いで、「子どもの教育に関すること」が29.6%となっています。



② 父親の子育て参加状況

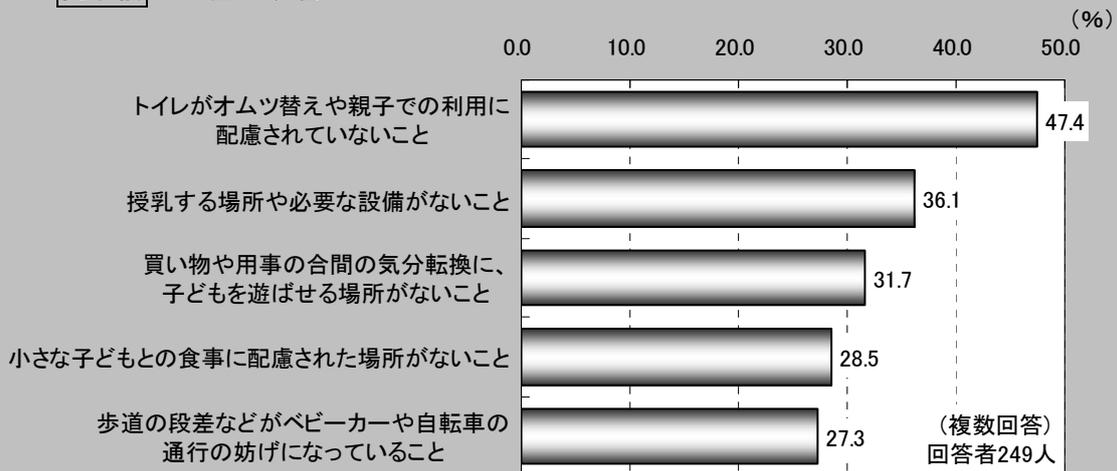
父親は子育てにどのくらい参加しているかについてみると、就学前では「積極的に参加している」が43.0%と最も多く、次いで、「まあまあ参加している」が41.0%となっています。小学校では「まあまあ参加している」が44.3%と最も多く、次いで、「積極的に参加している」が30.6%となっています。



③外出の際、困ること・困ったこと

外出の際、困ること・困ったことについてみると、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」が47.4%と最も多く、次いで、「授乳する場所や必要な設備がないこと」が36.1%となっています。

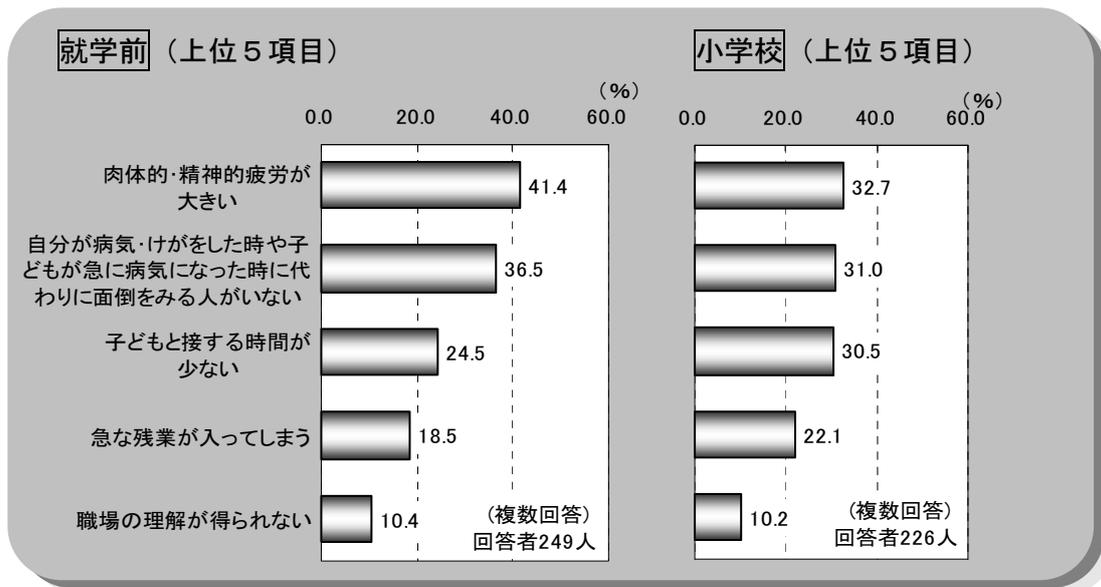
就学前（上位5項目）





(5) 仕事と子育ての両立について

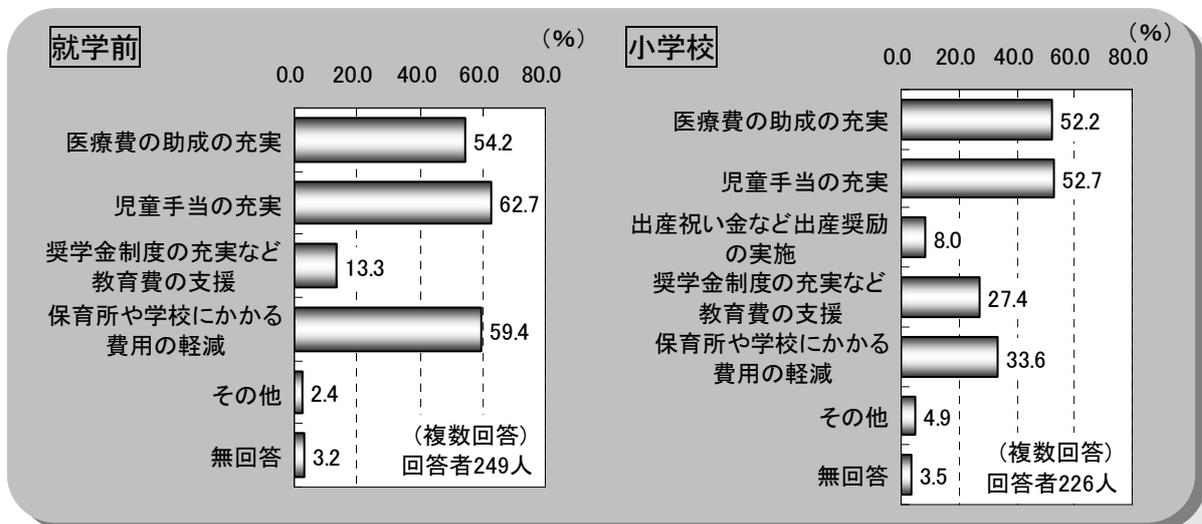
仕事と子育ての両立で大変だと感じることについてみると、就学前、小学校ともに「肉体的・精神的疲労が大きい」が最も多く、就学前では41.4%、小学校では32.7%となっています。次いで、ともに「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が就学前では36.5%、小学校では31.0%となっています。



(6) 行政サービスへの要望

① 経済的支援として、最も望まれるもの

経済的支援として、最も望むものについてみると、就学前、小学校ともに「児童手当の充実」が最も多く、就学前では62.7%、小学校では52.7%となっています。次いで、就学前では「保育所や学校にかかる費用の軽減」が59.4%、小学校では「医療費の助成の充実」が52.2%となっています。

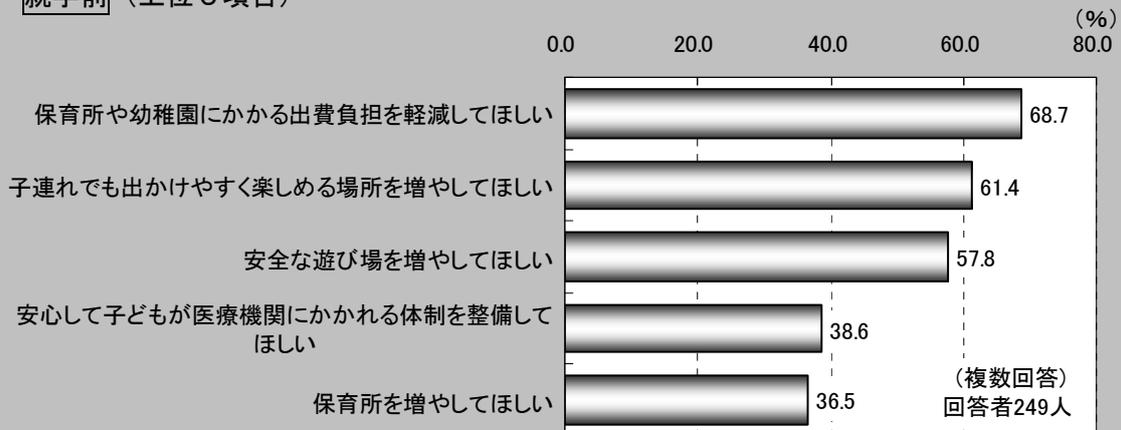




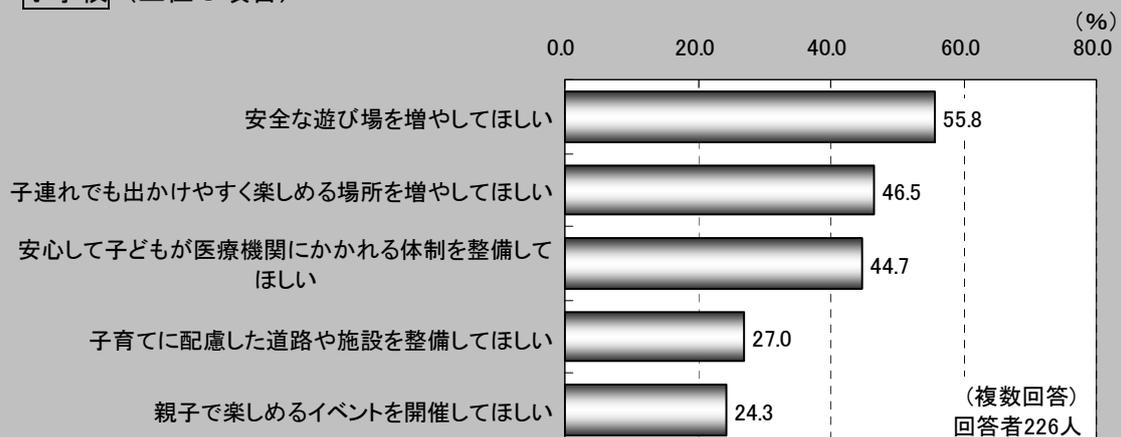
②市に対して求める子育て支援策

市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいかについてみると、就学前では「保育所や幼稚園にかかる出費負担を軽減してほしい」が最も多く、68.7%と過半数を占めており、次いで、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が61.4%となっています。小学校では「安全な遊び場を増やしてほしい」が最も多く、55.8%と過半数を占めており、次いで、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が46.5%となっています。

就学前（上位5項目）



小学校（上位5項目）



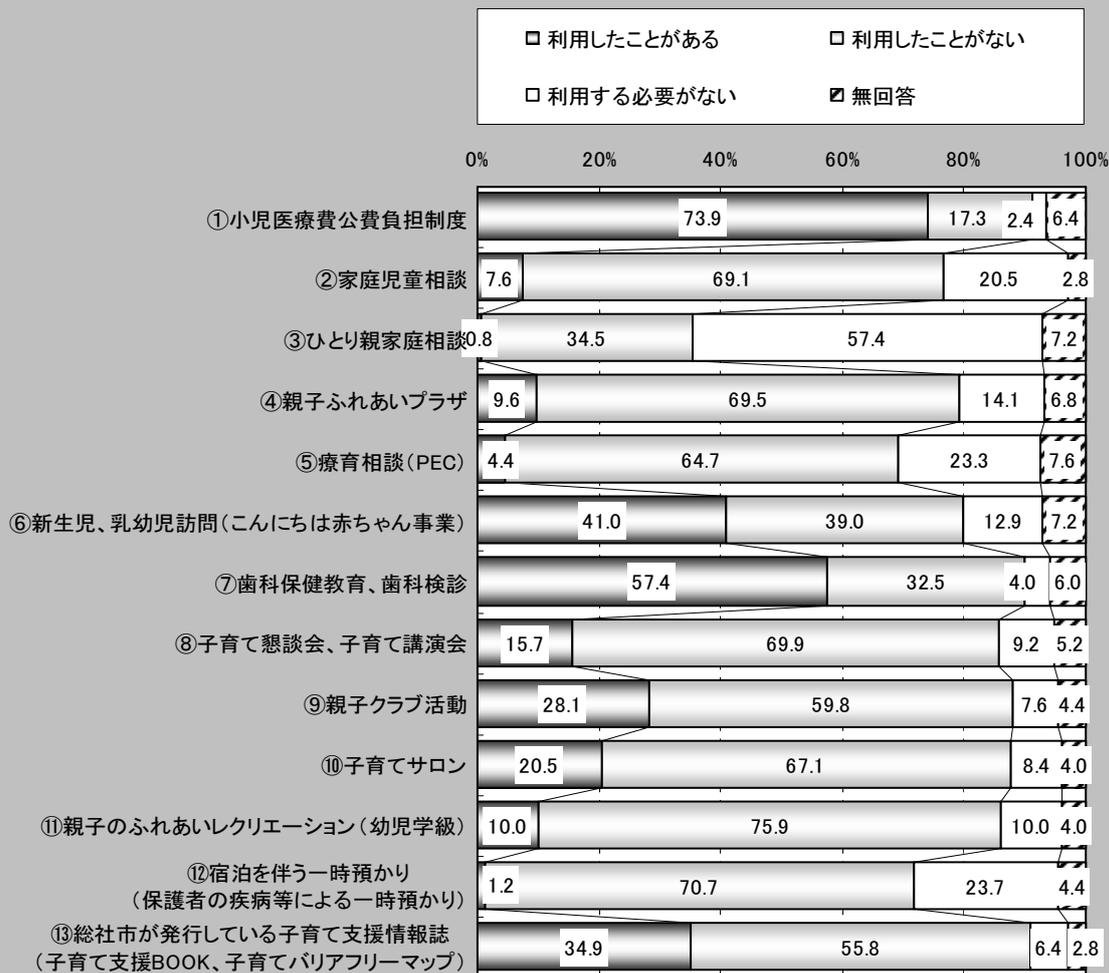


(7) 各サービスの利用度

サービスの利用度についてみると、就学前では「小児医療費公費負担制度」が最も多く、73.9%と7割以上を占めており、次いで、「歯科保健学級、歯科検診」が57.4%と過半数を占めています。

小学校では「小児医療費公費負担制度」が最も多く、60.6%と6割以上を占めており、次いで、「子育て懇談会、子育て講演会」が20.4%となっています。

就学前

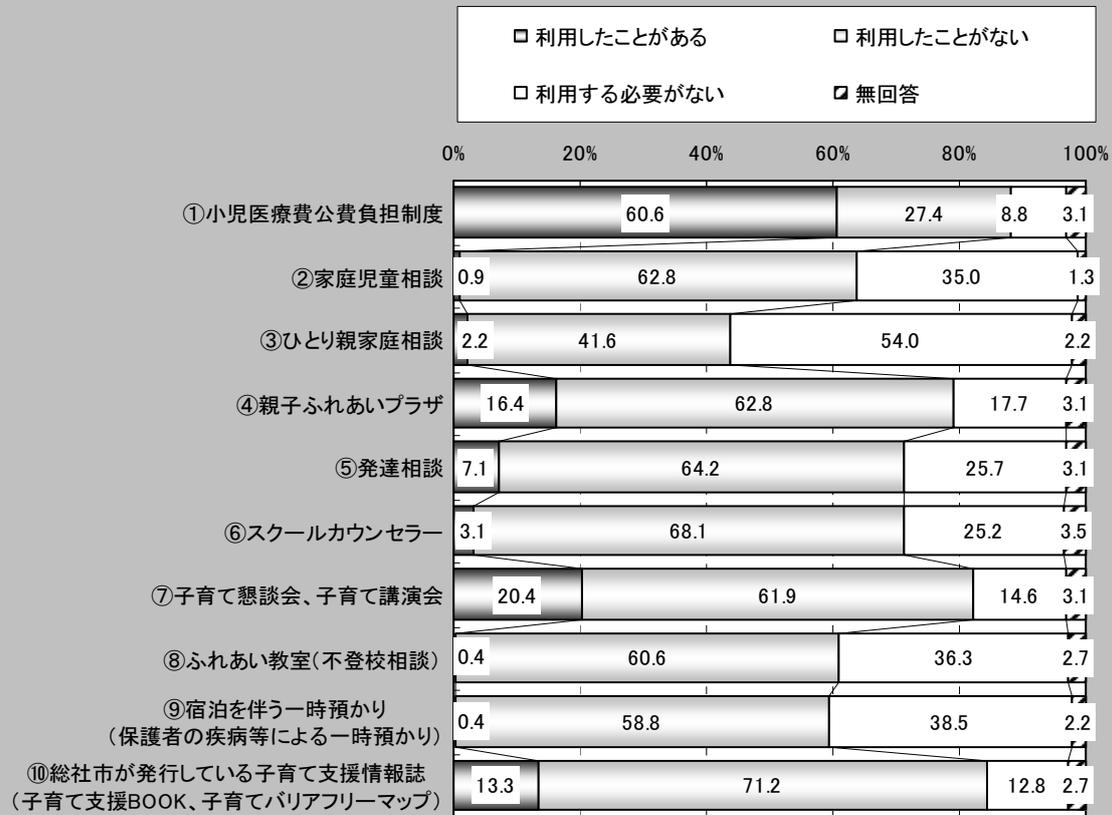


(単数回答)

回答者 249人



小学校



(単数回答)

回答者 226 人

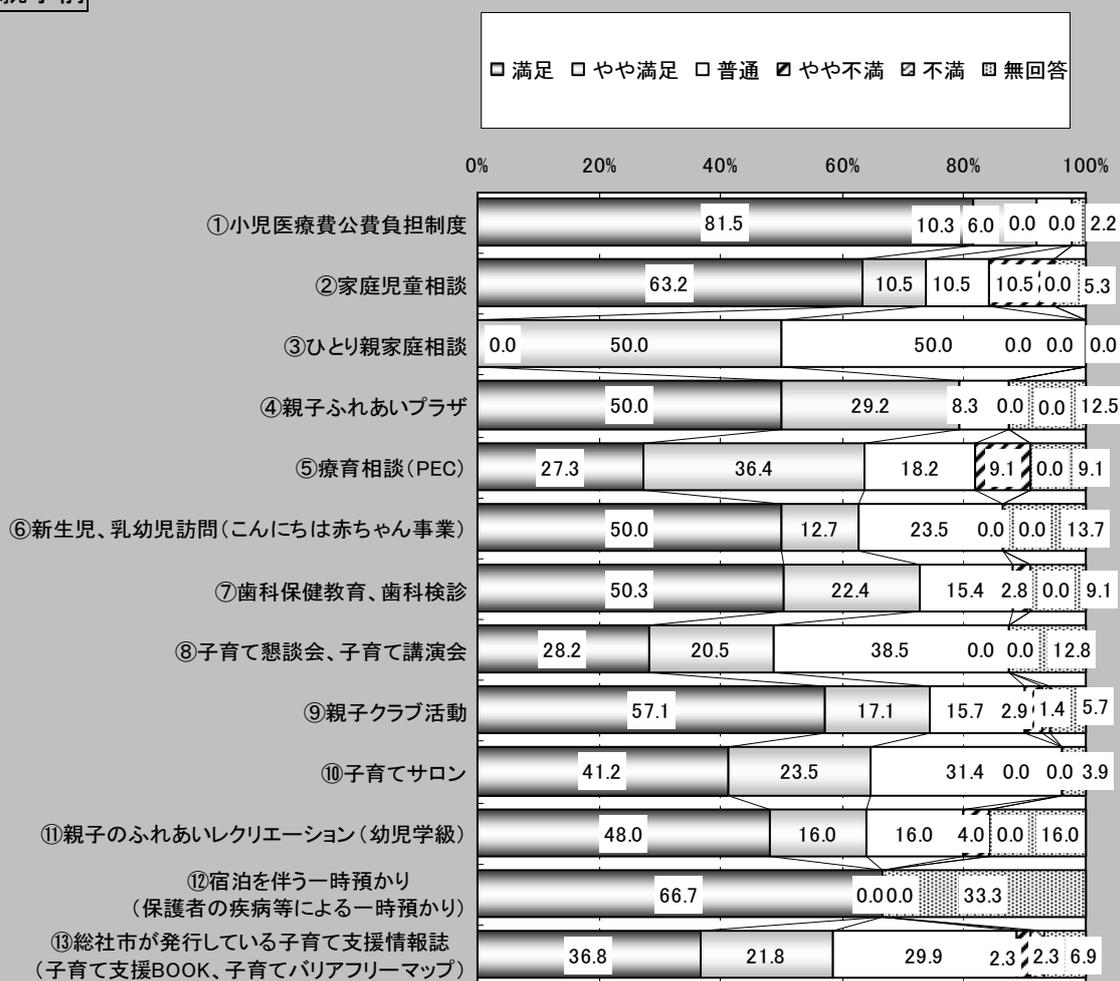


(8) 各サービスの満足度

サービスの満足度についてみると、就学前では「小児医療費公費負担制度」が最も多く、81.5%と8割以上を占めており、次いで、「歯科保健学級、歯科検診」が50.3%と5割以上を占めている。

小学校では「小児医療費公費負担制度」が最も多く、77.4%となっており、次いで、「親子ふれあいプラザ」が40.5%となっている。

就学前

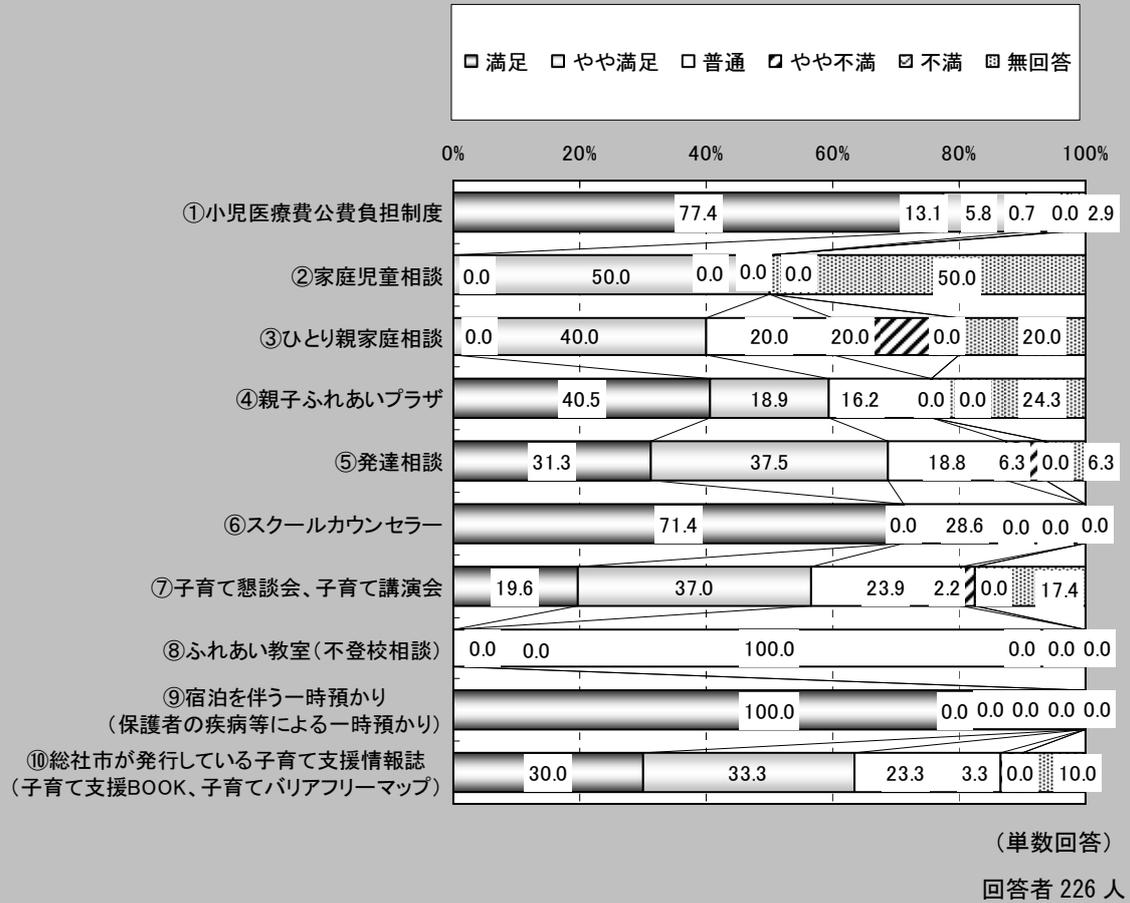


(単数回答)

回答者 249 人

(※サンプル数が一桁のものは分析から除く)

小学校



(※サンプル数が一桁のものは分析から除く)



2 各種アンケート調査の結果

ひとり親世帯、障がいのある子の世帯、親子クラブ、子育て支援団体を対象として、平成21年1月に各種アンケート調査を実施しました。

【表】各種アンケート調査

区分	調査団体			
	ひとり親世帯	障がいのある子の世帯	親子クラブ	子育て支援団体
参加数	60 世帯	59 世帯	17 団体	34 団体

【意見】

- 保育サービス** ◆ 病児・病後児や一時預かり支援を充実してほしい。
- 保健・療育・医療体制** ◆ 発達相談を充実してほしい。
◆ 市内に養護学校や、障害者支援センターを設置してほしい。既存の施設では、総社はばたき園の充実を図ってほしい。
- 幼稚園** ◆ 幼稚園で給食があればありがたい。
- 経済的意見** ◆ 手当の充実や、子育てに係る費用負担の軽減を図ってほしい。
◆ 障がいのある子について、保育所の費用を軽減してほしい。また、学校等の受け入れ体制の充実を図ってほしい。
◆ 医療費の一層の軽減を図ってほしい。
◆ ゴミ袋が有料だが、乳幼児のいる家庭等には減免を図ってほしい。
◆ 不妊治療の費用の助成をしてほしい。
- 地域整備** ◆ 公園や遊び場を増やしてほしい。また、遊具や駐車場の充実を図ってほしい。
◆ 屋内でも子どもが遊べる、児童館のような施設がほしい。
◆ 保育園や放課後児童クラブ等の保育施設が足りない。必要な時にはすぐに入れるようにしてほしい。また、夜間も預けることが出来ると良い。



地域整備

- ◆ 公共施設や商業施設に子どもと気軽に出かけられるよう、設備等の配慮をしてほしい。新生児用カートを置いてある店が少なく、あっても日焼けして乗せられないほど熱くなる所に置いてあったりして、配慮が足りない。
- ◆ 歩道が狭く、段差も多いため、ベビーカーを押しづらい。横断歩道も少ないように思う。
- ◆ 病院が少ないと感じる。夜間や救急時に頼りになる病院をつくってほしい。
- ◆ 外灯を増やしてほしい。
- ◆ 市民会館や福祉センターの駐車場が少なく、催しの際、不便を感じる。障害者用の駐車場はさらに少ないと感じる。

その他意見

- ◆ 子育てについて、相談する場所がない。あっても問題ごとに多くの担当者と話をしなければならない。相談の一元化を図ってほしい。
- ◆ 3世帯同居世帯への補助があれば良い。高齢者独居世帯の減少にもつながると思う。
- ◆ 親子のふれあいを促すイベントを増やしてほしい。
- ◆ 公共交通機関の充実を図ってほしい。運賃を安くしてほしい。
- ◆ 子どもと過ごす時間が確保できるよう、ワーク・ライフ・バランスを進めてほしい。
- ◆ 地域と子育て家庭との交流を促進する施策を行ってほしい。
- ◆ 子どもが小さい頃だけに手厚い支援をするのではなく、社会人として働きはじめるまで、本当に困っている人への支援を考えてほしい。



3 特定 14 項目事業の進捗状況

特定 14 項目事業とは、次世代育成支援対策推進法により、数値目標を設定し、重点的に取り組むこととされている事業です。

【表】目標事業量 総社市

単位：人，か所，%

NO	事業名	目標設定	前期目標事業量	実績	達成率	後期目標事業量
			H21	H21	H21/H21	H26
1	乳幼児健康支援一時預かり事業 〔病児・病後児保育(派遣型)〕	年間延 派遣回数	0	0	0	0
2	乳幼児健康支援一時預かり事業 〔病児・病後児保育(施設型)〕	定員数	12	0	0	3
		設置個所数	2	0	0	1
3	保育所における一時預かり 事業(一時保育事業)	設置箇所数	4	4	100.0	5
4	特定保育事業	設置箇所数	0	0	0	0
5	地域子育て支援センター事業	設置個所数	5	5	100.0	5
6	通常保育事業	定員数	1,075	1,125	104.7	1,215
		設置個所数	11	12	109.1	13
7	延長保育事業	設置個所数	11	12	109.1	13
8	休日保育事業	設置個所数	2	1	50.0	2
9	夜間保育事業	設置箇所数	0	0	0	0
10	子育て短期支援事業 (トワイライトステイ事業)	設置箇所数	0	0	0	0
11	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ事業)	定員数	400	590	147.5	610
		設置個所数	9	12	133.3	14
12	子育て短期支援事業 (ショートステイ事業)	設置箇所数	0	0	0	0
13	つどいの広場事業	設置個所数	2	3	150.0	5
14	ファミリーサポートセンター事業	設置個所数	1	1	100.0	1

※人口や各事業の利用状況により算出されたニーズ量より、「病児・病後児保育(派遣型)」
「^{用語説明 19}特定保育事業」^{用語説明 23}、「^{※用語説明 20}夜間保育事業」^{※用語説明 20}、「^{※用語説明 20}トワイライトステイ事業」^{※用語説明 20}、「^{※用語説明 20}ショートステイ事業」^{※用語説明 20}
の5事業については、目標事業量が1に満たなかったため、0と記載しています。



【表】※参考 目標事業量 旧総社市

単位:人,か所

NO	事業名	目標設定	達成年度				
			H17	H18	H19	H20	H21
1	乳幼児健康支援一時預かり事業 〔病児・病後児保育(派遣型)〕	年間延 派遣回数	0	0	0	0	0
2	乳幼児健康支援一時預かり事業 〔病児・病後児保育(施設型)〕	定員数	6	6	6	12	12
		設置箇所数	1	1	1	2	2
3	一時保育事業	定員数	0	0	0	0	0
		設置箇所数	4	4	4	4	4
4	特定保育事業	定員数	0	0	0	0	0
5	地域子育て支援センター事業	設置箇所数	3	3	3	4	4
6	通常保育事業	定員数	815	845	875	905	905
		設置箇所数	9	9	9	9	9
7	延長保育事業	設置箇所数	9	9	9	9	9
8	休日保育事業	設置箇所数	1	1	1	2	2
9	夜間保育事業	設置箇所数	0	0	0	0	0
10	子育て短期支援事業 (トワイライトステイ事業)	設置箇所数	0	0	0	0	0
11	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ事業)	定員数	220	270	270	270	310
		設置箇所数	5	6	6	6	7
12	子育て短期支援事業 (ショートステイ事業)	設置箇所数	0	0	0	0	0
13	つどいの広場事業	設置箇所数	2	2	3	3	4
14	ファミリーサポートセンター事業	設置箇所数	1	1	1	1	1



【表】※参考 目標事業量(平成 21 年度) 旧清音村・旧山手村

単位:人,か所

NO	事業名	目標設定	清音村	山手村
1	乳幼児健康支援一時預かり事業 〔病児・病後児保育(派遣型)〕	年間延 派遣回数	0	0
2	乳幼児健康支援一時預かり事業 〔病児・病後児保育(施設型)〕	設置個所数	0	0
3	一時保育事業	設置個所数	0	0
4	特定保育事業	設置箇所数	0	0
5	地域子育て支援センター事業	設置個所数	0	1
6	通常保育事業	定員数	80	90
		設置個所数	1	1
7	延長保育事業	設置個所数	1	1
8	休日保育事業	設置個所数	0	0
9	夜間保育事業	設置個所数	0	0
10	子育て短期支援事業 (トワイライトステイ事業)	設置個所数	0	0
11	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ事業)	定員数	50	28
		設置個所数	1	1
12	子育て短期支援事業 (ショートステイ事業)	設置個所数	0	0
13	つどいの広場事業	設置個所数	1	1
14	ファミリーサポートセンター事業	設置個所数	0	0



4 目標指標

本計画に基づいて展開する事業の実施量や成果に関する目標を次のように定めます。

【表】目標指標一覧(特定 14 項目事業)

項目	頁数	目標指標		
		現況 (平成 21 年 4 月現在)	平成 26 年度 目標	担当
乳幼児健康支援一時預かり事業 (病児・病後時保育派遣型)	—	0か所	0か所	こども課
病院における乳幼児健康支援一 時預かり事業(病児・病後児保育 施設)の拡充	72	0か所	1か所	こども課
保育所における一時預かり事 業(一時保育事業)	72	4か所	5か所	こども課
特定保育事業	—	0か所	0か所	こども課
通常保育事業の充実	70	12 か所 1,125 人	13 か所 1,215 人	こども課
延長保育事業の充実	70	12 か所	13 か所	こども課
休日保育事業の充実	71	1か所	2か所	こども課
夜間保育事業	—	0か所	0か所	こども課
子育て短期支援事業(トワイライト ステイ事業)	—	0か所	0か所	こども課
子育て短期支援事業(ショート ステイ)	74	0か所	1か所と受入契約	こども課
「地域子育て支援センター」事 業の充実	76	5か所	5か所	こども課
放課後児童健全育成事業(放課後 児童クラブ)の拡充	73	12 か所	14 か所	こども課
「つどいの広場」事業	76	3か所	5か所	こども課
ファミリーサポートセンター事業	74	1か所	1か所	こども課



【表】目標指標一覧(特定 14 項目事業以外の重点事業及び一般事業)

項目	頁数	目標指標		
		現況 (平成 21 年 4 月現在)	平成 26 年度 目標	担当
幼稚園預かり保育事業の充実	73	0か所	9か所	学校教育課
小児医療費給付事業	81	小学校修了時まで 通院・入院費無料	小学校修了時まで 通院費無料 中学校修了時まで 入院費無料	こども課
障がい児保育事業	86	拠点か所 1か所	拠点か所 2か所	こども課
母子健康手帳の交付	90	妊娠 20 週までに妊娠 の届出をする妊婦 94%	妊娠 20 週までに妊娠 の届出をする妊婦 100%	こども課
不登校対策事業	98	事業の導入を検討	不登校児童・生徒の 減少	学校教育課
スクールソーシャルワーカーの 派遣	98	スクールソーシャル ワーカーを講師とした 校長研修を実施	市内すべての小中学 校にスクールソーシャ ルワーカーを派遣	学校教育課
都市公園の整備	105	整備を検討	1か所増設	都市計画課
次世代認定マーク“くるみん”の 取得の推進	106	0社	3社	こども課
交通安全指導の充実	108	保育所・幼稚園・学校 において、交通安全 指導を実施	保育所・幼稚園・学校 において、交通安全 指導を年に複数回実 施	人権・まちづくり課



5 「子育て王国そうじゃ」まちづくり協議会設置要領

(設置目的)

第1条 次世代育成支援対策推進法第21条に基づき、総社市における次世代育成支援対策の推進に関し必要となるべき措置について協議し、次代の子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを目的に、「子育て王国そうじゃ」まちづくり協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について、市長の諮問に応ずるほか、必要な事項について、調査、審議する。

(1) 総社市次世代育成支援行動計画(以下「次世代計画」という。)、総社市子ども条例(以下「子ども条例」という。)及び総社市食育推進計画(以下「食育計画」という。)の策定に関すること。

(2) 次世代計画、子ども条例及び食育計画の進捗状況を把握し、見直し事項等について提言すること。

(3) 前号に掲げるもののほか、次代の子どもが健やかに育つ環境づくりの推進に関し、協議会において必要とされた事項。

(組織)

第3条 協議会は、委員25人以内をもって組織し、次の各号に掲げる者の中から市長が委嘱し、又は任命する。

(1) 学識経験を有する者

(2) 公募による者

(3) 各種関係団体の代表者

(4) 関係行政機関の職員

(5) その他市長が適当と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、平成22年3月31日までとし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の中から互選する。

3 会長は、協議会を代表し会議を総理する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。



(会議)

第6条 協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことはできない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(専門研究部会)

第7条 協議会が所掌する事項について、必要な調査、研究を行うため、委員会の補助機関として専門研究部会を設置することができる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、こども課において行う。

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(実施期日)

1 この要領は平成20年10月29日から実施する。

(委員会招集の特例)

2 委員の委嘱又は任命後最初に招集される委員会は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。



6 「子育て王国そうじゃ」まちづくり協議会 名簿

平成 22 年 3 月 31 日現在

区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考
学識経験を有する者 (要領第3条第1号)	岡山県立大学 保健福祉学部	准教授	中野菜穂子	
		准教授	近藤 理恵	会長
		准教授	久保田 恵	
公募による者 (要領第3条第2号)	市民公募委員		定井 恵子	
各種関係団体の代表者 (要領第3条第3号)	総社市保育協議会	会 長	服部 剛司	
	総社市社会福祉協議会	事務局長	佐野 裕二	
	「子育て王国そうじゃ」 まちづくり実行委員会	委 員	中島久美子	
	総社市民生委員児童委員 協議会	主任児童 委員部長	中村 忠雄	
	吉備医師会	会 員	山本 裕子	
	総社市愛育委員協議会	会 長	入江 浩子	
	総社市栄養改善協議会	会 長	岡本 安子	
	総社商工会議所	会 頭	清水 男	副会長
	総社市幼稚園長会	副会長	萱原 久恵	
	総社市校長会	会 長	古家野 勇	
	総社市PTA連合協議会	会 長	友野 玲子	
	子育て応援こっこ	代 表	福光 節子	
関係行政機関の職員 (要領第3条第4号)	倉敷中央公共職業安定所 総社出張所	所 長	浦上 良巳	
	岡山県倉敷児童相談所	所 長	花房 恭子	
	岡山県備中保健所	主 幹	塩飽 朱実	
	総社市教育委員会	参 事	藤井 和郎	
		栄養教諭	中田久美子	

計 18 団体 21 名



7 「子育て王国そうじゃ」まちづくり協議会

次世代育成支援計画・こども条例策定部会 名簿

平成 22 年 3 月 31 日現在

区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考
学識経験を有する者 (要領第3条第1号)	岡山県立大学 保健福祉学部	准教授	中野菜穂子	
		准教授	近藤 理恵	部会長
公募による者 (要領第3条第2号)	市民公募委員		定井 恵子	
各種関係団体の代表者 (要領第3条第3号)	総社市保育協議会	会 長	服部 剛司	
	総社市社会福祉協議会	事務局長	佐野 裕二	
	「子育て王国そうじゃ」 まちづくり実行委員会	委 員	中島久美子	
	総社市民生委員児童委員 協議会	主任児童 委員部長	中村 忠雄	
	吉備医師会	会 員	山本 裕子	
	総社市愛育委員協議会	会 長	入江 浩子	
	総社市栄養改善協議会	会 長	岡本 安子	
	総社商工会議所	会 頭	清水 男	
	総社市幼稚園長会	副会長	萱原 久恵	
	総社市校長会	会 長	古家野 勇	
関係行政機関の職員 (要領第3条第4号)	倉敷中央公共職業安定所 総社出張所	所 長	浦上 良巳	
	岡山県倉敷児童相談所	所 長	花房 恭子	
	岡山県備中保健所	主 幹	塩飽 朱実	
	総社市教育委員会	参 事	藤井 和郎	

計 17団体 18名

区 分	所 属	役 職	氏 名
事務局	保健福祉部	部 長	松森 徹
	保健福祉部	次長兼こども課長	山本 勉
	こども課	課長補佐兼 子育て支援係長	中山 和代
	こども課	子育て支援係	岡崎 利恵
	こども課	子育て支援係	福武 幸一
	こども課	子育て支援係	中田佳奈江



8 「子育て王国そうじゃ」まちづくり協議会

食育推進計画策定部会 名簿

平成22年3月31日現在

区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考
学識経験を有する者 (要領第3条第1号)	岡山県立大学 保健福祉学部	准教授	久保田 恵	部会長
公募による者 (要領第3条第2号)	市民公募委員		定井 恵子	
各種関係団体の代表者 (要領第3条第3号)	総社市保育協議会	会 長	服部 剛司	
	総社市社会福祉協議会	事務局長	佐野 裕二	
	「子育て王国そうじゃ」 まちづくり実行委員会	委 員	中島久美子	
	総社市愛育委員協議会	会 長	入江 浩子	
	総社市栄養改善協議会	会 長	岡本 安子	
	総社市幼稚園長会	副会長	萱原 久恵	
	総社市校長会	会 長	古家野 勇	
	総社市PTA連合協議会	会 長	友野 玲子	
関係行政機関の職員 (要領第3条第4号)	岡山県備中保健所	主 幹	塩飽 朱実	
	総社市教育委員会	参 事	藤井 和郎	
		栄養教諭	中田久美子	

計 13団体 14名

区 分	所 属	役 職	氏 名
事務局	保健福祉部	部 長	松森 徹
	保健福祉部	次長兼こども課長	山本 勉
	こども課	課長補佐兼 子育て支援係長	中山 和代
	こども課	母子保健係長	中村 敏恵
	こども課	子育て支援係	福武 幸一
	こども課	母子保健係	林 美恵子



9 策定経過

年 月 日	内 容
平成20年 10月29日	委員の委嘱, 正副会長と部会長の選出 行動計画策定の主旨の説明と, 策定のためのニーズ調査案を提示
12月3日	第2回協議会と策定部会を開催 ニーズ調査案を決定
12月17日	ニーズ調査票を, 就学前児童世帯 500 世帯と就学児童世帯 500 世帯の計 1,000 世帯にあて送付 回答期限は平成 21 年 1 月 16 日
1月28日	子育てクラブ, ひとり親家庭及び障がい児の保護者に意見聴取 回答期限は2月 27 日
3月6日	ニーズ調査結果を集計し, 報告書を作成
3月25日	第3回協議会と策定部会を開催 ニーズ調査の結果の報告と, 本計画の策定について説明
5月26日	第4回協議会と策定部会を開催 本計画素案を提示し, 検討
8月18日	第5回協議会と策定部会を開催 本計画素案(修正案)を検討
11月6日	第6回協議会と策定部会を開催 本計画素案(修正案)を検討
平成22年 1月12日	第7回協議会と策定部会を開催 本計画素案を策定
1月19日	市長へ答申
2月22日	パブリックコメントを実施 3月 12 日まで
4月1日 (予定)	本計画を策定, 施行



10 用語説明

(あいうえお順)

NO	用語	内容	頁数
1	一時預かり事業	パート就労等女性の就労形態の多様化にともなう一時的な保育や、保護者の傷病・入院、私的理由等による緊急時の保育を支援するための保育事業。	63
2	延長保育事業	保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等のため、開所時間(11 時間)を超えて児童の保育を支援する事業。	18
3	園庭開放	保育施設の地域活動のひとつとして、すべての子どもたちが地域ぐるみで育つことを目指す地域の親子のための施設開放。	77
4	親子ふれあいプラザ	東部地区、西部地区、昭和地区にある子育て支援のための部屋。	22
5	親子ふれあいルーム	総社ふれあいセンターにある子育て支援のための部屋。	76
6	家庭児童相談員	子育ての基本をなす家庭養育での不安や悩みの相談に専門的に対応する相談員。	62
7	休日保育事業	保護者が就労等により日曜・祝日等の休日において、保護者の就労、傷病及び冠婚葬祭等やむを得ない事由により、児童を家庭で保育できない場合に、保護者の子育てを支援するとともに、児童の健全な育成を図ることを目的とする事業。	18
8	協同学習	小グループでお互いに力を合わせ、助け合いながら学習を進めていく集団学習。協同的な学習のために、お互いに顔を合わせ話し合い、継続して共同作業をすることから、仲間との協調性を育成するとともに、自主性を身に付けることができる。	65
9	コーホート変化率法	各コーホート(同じ年または同じ期間に生まれた人々の集団)について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。	16



10	次世代認定マーク“くるみん”	少子化対策や子育て支援に積極的に取り組む企業の認定マークで、赤ちゃんを優しく、暖かく、“おくるみ”で包むことを表している。	63
11	ショートステイ事業	保護者の疾病・出産・看護・事故等により児童の養育が困難になった場合、児童福祉施設等で小学生以下の児童を一時的に養育・保護する事業。	74
12	スクールカウンセラー	子どもたちの心の痛みの原因となる家庭や学校環境の調整など、総合的な観点から問題解決にあたる専門職。	100
13	スクールソーシャルワーカー	学校の中で子どもが抱える悩みに対し、福祉的なアプローチで学校・家庭・地域に働きかけながら、問題の解決を図る専門家。	61
14	待機児童	保育所への入所要件を備え、入所申し込みをしているが、入所していない児童。このうち、国庫補助事業による家庭的保育事業・特定保育で保育されている児童、自治体独自の施策で保育を受けている児童、近くに入所可能な保育所があるにもかかわらず、保護者の都合で入所していない児童等は除いている。「保育所を希望しているが申込書は提出していない」等の潜在的需要は含んでいない。	18
15	男女共同参画社会	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。	3
16	地域子育て支援センター	在宅している乳幼児や親子を対象に、子ども同士のふれあいや、遊び場を提供したり、子育てに関する心配事の相談、援助の実施、地域の子育て関連情報の提供などを行う。	64
17	通常保育事業	保護者等が労働等により家庭で十分に保育することができない就学前の児童に対し、適正な保育を実施し、児童の健全な育成を図るとともにその保護者等を支援する事業。	63



18	つどいの広場事業	子育てに関するさまざまな悩みや疑問を、相談員や広場に集まる子育て仲間たちとともに過ごし交流することで、少しずつ子育てへの負担感を解消していくための場所。	32
19	特定保育事業	保護者のパート就労等により家庭での保育が困難な就学前児童に対して、週 2～3日程度、または午前か午後のみ等の柔軟な保育を行う。	132
20	トワイライトステイ事業	保護者が仕事等で帰宅が夜間になる場合、児童福祉施設等で児童を一時的に養育・保護する事業。	132
21	バリアフリー	障がいのある人が社会生活をしていくうえで障壁（バリア）となるものを除去するという意味で、段差等の除去をいうことが多い。しかし、より広く障がいのある人の社会参加を困難にしている制度的に障壁、文化・情報面の障壁、意識上の障壁など、すべての障壁の除去という意味でも用いられる。	74
22	ピアサポート	同じ経験や体験を持つ当事者が、お互いに支え合う活動。学生や生徒同士の支え合いや、かつての経験者による相談支援を行う。	65
23	病児・病後児保育	病中又は病気の回復期にある児童の一時預かりを行うことにより、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的に行われている事業。	55
24	ファミリーサポートセンター事業	地域において、「子育ての援助をしてほしい方」と「援助ができる方」が会員となって、お互いに助け合う相互援助活動のシステム。	74
25	プレーリーダー	子どもたちの遊びに関する知識や技術を持って、子どもたちの遊びを援助するボランティア。	64
26	放課後児童クラブ	保護者が就労等で昼間家庭にいない小学校低学年児童に対し、放課後適切な遊びや生活の場を与えて健全育成を図る事業。	20
27	母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭の母、寡婦、父子家庭の父などが一時的な疾病その他の事由により日常生活を営むのに支障がある場合、居宅その他厚生労働省令の定める場所において、生活支援や子育て支援を行う事業。	84
28	夜間保育事業	保護者就業形態・就業時間の多様化に対応するため、午後 10 時まで保育を行うこと。	132



29	ユニバーサル デザイン	年齢や性別、身体的能力、国籍や文化など人々のさまざまな特性や違いを超えて、すべての人が利用しやすい、すべての人に配慮したまちづくりやものづくり、仕組みづくりを行うという考え方。バリアフリーをさらに一歩進め、最初からすべての人に配慮したまちづくりやものづくり、仕組みづくりを行うもの。	105
30	要保護児童	保護者のない児童または保護者に監護させることが不相当であると認められる児童。	30
31	ラッコの部屋	保健センター2階にある子育て支援のための部屋。	76
32	ワークショップ	所定の課題についての事前研究の結果を持ち寄って、討議を重ねる形の研修会。	103
33	ワーク・ライフ ・バランス	「仕事と生活の調和」の意味。「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指す。	63
34	TT(チーム ティーチング)	教員の特性を生かし、複数の教員が協力して授業を行う指導方法。	46



索引

数字

1歳6か月児・3歳児健康診査.....	42, 92
3年保育の充実.....	45, 46

あ

愛育委員・栄養委員との連携.....	33, 63, 78
アルコール、薬物に対する知識の普及.....	43, 94
安全な環境の整備.....	50, 105

い

育児不安の親を対象にしたグループミーティングの開催.....	35, 62, 82
遺児激励金の支給.....	37, 85
移動支援事業.....	87

え

延長保育事業の充実.....	28, 63, 70, 71, 135
----------------	---------------------

お

オータムフェスティバルの開催.....	49, 104
親子クラブ活動の充実.....	33, 78
親子のふれあいレクリエーション.....	48, 103
親子ふれあいプラザ，ラッコの部屋，親子ふれあいルームの充実.....	77
親子料理教室.....	44, 48, 64, 96

か

ガイドブックとホームページによる子育て支援情報の提供.....	29, 30, 74
家事・育児など男性対象講座の開催.....	48, 102
学校給食による食育の推進.....	44, 64, 96
学校施設開放事業.....	32, 65, 76
学校地域における読書活動の推進.....	46, 64, 98
学校評議員の活用.....	46, 101
家庭児童相談員による相談の充実.....	29, 74
家庭児童相談員を中心とした相談援助事業.....	35, 62, 82

き

喫煙防止教育の推進.....	43, 94
虐待予防及び育児不安の解消.....	35, 62, 82
虐待をしている親と虐待をされている子どもに対する支援の充実.....	35, 83



き

休日保育事業の充実	28, 63, 71, 135
求職者就労者支援セミナーの開催	51, 107
教育相談室, 家庭児童相談室における相談の充実	46, 99
教職員の研修の充実	46, 100
居宅介護 (ホームヘルプサービス)	38, 87

け

健康相談事業	42, 92
健康相談の充実	29

こ

交通安全指導の充実	53, 108, 109, 136
交通遺児援助金の支給	37, 85
高等技能訓練促進費事業の導入	64, 84
こころの健康対策	43, 46, 95
子育てカレッジの開設	64, 72
子育てグループにおける親支援	48, 102
子育てグループ活動における世代間交流	49, 104
子育て講演会の開催	48, 102
子育て懇談会の開催	48, 102
子育て支援連絡会の開催	33, 79
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	29, 74, 75, 135
子育てに適した住宅の整備誘導	50
子育てワークショップの開催	48, 103
「子育て支援総合コーディネーター」事業	29, 61, 73
こどもエコクラブ	49, 104
子ども会連合会との連携	33, 79
子ども連れ客への配慮	50, 63, 105
子ども手当支給	81
子どもの居場所づくり	32, 77
子どもの権利啓発事業	35, 36, 63, 80
子どもの事故予防, 心肺蘇生法の普及の啓発強化	42, 93
子ども避難所支援事業	54, 109
子どもまつり	49

し

歯科健康診査・保健学級	42, 93
歯科保健対策の推進	43, 94
次世代認定マーク“くるみん”の取得の推進	63, 106, 107, 136
自然学校の開催	49, 104
児童虐待への専門的対応のためのシステムづくり	35, 83
児童デイサービス	38, 87
児童扶養手当支給事業	37, 85
就学指導の充実・障がい児指導の充実	88
周産期医療対策事業	42, 93
主任児童委員, 児童委員との連携	33, 63, 78
障害児福祉手当の支給	87



し

障がいのある子どもの放課後児童クラブへの受け入れ	38, 88
障がい児日常生活用具給付等事業	38, 87
障がい児保育事業	38, 86, 88, 136
障がい児保育事業の充実	28, 63, 71
情操教育推進事業	45, 99
小児医療費給付事業	61, 81, 136
小児救急医療体制の整備	42, 92
小児救急医療電話相談	42, 93
少人数、TTによる指導の推進	45, 46, 99
情報教育推進事業	45, 100
助産施設入所者措置事業	34, 81
新生児・乳幼児訪問	38, 42, 92
新生児・乳幼児訪問による子育て相談の充実	29, 30

す

スカウト協会との連携	33, 79
スクールカウンセラー等活用事業	46, 100
スクールソーシャルワーカーの派遣	61, 98, 101, 136
スクールソーシャルワークについての研究	46
スポーツ教室等の事業	46, 101
スポーツ少年団との連携	33, 79

せ

生活習慣病予防のための指導・広報	44, 97
青少年育成センターにおける指導	46, 101
青少年校外補導協議会	46, 101
青少年校外補導協議会への支援	46, 101
専門的知識を持ったボランティアのコーディネート	33, 79

そ

総合施設に関する研究	45, 99
総合的な学習支援事業	45, 99
総合的な子育て支援センターの設置の検討	29, 32, 64, 76
総合的な自立支援	37, 84
「そうじゃ家族の日」の啓発	106
そうじゃ子ども会議の設置	80
相談支援事業（相談支援センター「ゆうゆう」）	62, 86

た

体育協会との連携	33, 79
大学生等を対象にしたプレーリーダーの育成	33, 78
体験学習推進事業	45
退職した教職員の活用	98
高間やまびこまつりの開催	48, 103
多文化共生事業の推進	62, 89



た

短期入所（ショートステイ）	38, 87
男女共同参画教育	48, 103
男女共同参画啓発事業	48, 102

ち

地域協働型の運営による子育てグループ活動の充実	33, 79
「地域子育て支援センター」における子育て相談の充実	29
「地域子育て支援センター」事業の充実	32, 76, 135
地域におけるネットワークづくり	38, 88

つ

通学指導員の設置	53, 108
通常保育事業の充実	28, 63, 70, 135
「つどいの広場」における子育て相談	29
「つどいの広場」事業	32, 76, 77, 135

て

定期健康診断	43, 95
--------	--------

と

登下校中の防犯ボランティアの育成	54, 109
特別児童扶養手当の支給	38, 88
図書館での絵本の読み聞かせ事業の充実	32, 64, 76
都市公園の整備	32, 65, 105, 136

に

日中一時支援	87
乳児家庭・養育支援訪問	88
乳幼児健康診査	42, 92
妊婦学級	40, 91
妊婦健康診査	40, 90
妊婦訪問	40, 91

は

発達相談事業	38, 42, 62, 86
発達段階に応じた性教育の推進	43, 95



ひ

ひとり親家庭等への医療費給付	37, 85
ひとり親家庭等への相談事業	37, 84
病院における乳幼児健康支援一時預かり事業（病児・病後児保育施設）の拡充	63, 72, 75, 135

ふ

ファミリーサポートセンター事業の充実	29, 74
父子家庭への支援	61, 81
不登校対策事業	65, 98, 101, 136
不妊に対する支援事業	40, 91
ふれあいフレンド派遣事業	46, 100
ふれあい教室設置事業	46, 100
ふれあい体験事業	48, 102

ほ

保育施設や幼稚園及び学校の危機管理整備事業	54, 109
保育士などの研修の充実	28, 71
保育所における一時預かり事業	29, 72, 75, 135
保育所における苦情処理体制の充実	46
保育所における世代間交流事業（保育所地域活動事業）	49, 104
保育所園庭開放事業の充実	32, 77
保育所増改築など事業	28, 71
保育所民営化推進事業	28, 71
保育所遊具など整備事業	50, 105
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の拡充	29, 30, 64, 73, 75, 135
防犯灯設置費補助金の支給	54, 108
防犯連合会への支援	54, 109
暴力追放推進連合会への支援	54, 109
ホームステイ事業	46, 100
母子緊急一時保護事業	37, 85
母子健康手帳の交付	40, 90, 91, 136
母子生活支援施設入所事業	37, 84
母子福祉協力員との連携	37, 84
母子福祉資金貸付事業	37, 85
補装具の支給	38, 87
母乳栄養の推進	44, 96
ボランティア、NPO法人の育成	33, 65, 78

み

未就園児親子登園事業の充実	32, 77
未受診児への保健指導	42, 93
水辺の楽校での体験活動の実施	49, 104
水辺の教室の開催	49, 104
「みんなで子育て」意識の醸成	62, 80



ゆ

ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備 50, 105

よ

要観察児健康診査 38, 42, 88
幼児教育センターの機能の充実 45, 99
幼稚園における子育て支援活動事業 32, 74
幼稚園の3年保育の充実 99
幼稚園預かり保育事業の充実 73, 75, 136
要保護児童対策地域協議会の充実 35, 62, 83
幼保連携促進事業 45, 99
予防接種の推進 42, 93

り

離乳食・幼児食指導 44, 97
療育相談事業（総合検診・療育相談指導教室＜総社ベック＞） 38, 62, 86
療育マネジメント事業 38, 88
両親学級 40, 91

ろ

労働者・事業主への広報・啓発活動の実施 51, 106

わ

若者を対象とした就労支援 51, 107

総社市次世代育成支援行動計画（後期計画）

すべての子どもの幸せのために、

互いに助け合う「子育て王国そうじゃ」

発行年月：平成 22 年 3 月

発行・編集：岡山県 総社市 保健福祉部 こども課

〒694-0064 岡山県総社市中央 1-1-1

TEL (0866) 92-8268 FAX (0866) 92-8385